

ワークショップ 25	
タイトル	SEA の手法を活かした振り返り教育カンファレンス ～その実演とファシリテーションのコツとは?～
日時	6月13日(土) 16:20-18:40
企画責任者	松浦 武志 (公募企画)
定員	30名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】 医師であれば誰もヒヤリとした経験やハットした経験はあるだろう。こうしたヒヤリハット事例から学ぶべきことは多い。本来こうしたヒヤリハット事例は、その経過が重大であればあるほど多くの病院関係者の間でその教訓を共有して次に活かすことが大切である。しかし逆説的に、その経過が重大であればあるほど、その教訓は経験者の胸の内にしまわれてしまうことが多い。</p> <p>その理由として、こうした事例の振り返りでは「ミスの糾弾」や「犯人探し」に終始することが多く、ヒヤリハット経験者は発表することで、かえって二重に苦しむことになりがちであることが挙げられる。</p> <p>こうした、経験者であれば誰もが感じる心の葛藤に配慮し建設的に振り返るための振り返り教育カンファレンスの運営のコツを、SEA (Significant Event Analysis)の手法を解説しながら、実際のカンファレンスの実演を通して学ぶ企画である。特にカンファレンスの準備方法やカンファレンスのファシリテート技法に焦点を当てて実例を通して解説する予定である。</p> <p>【概要】 SEA (Significant Event Analysis)の理論的背景を解説し、そのエッセンスをどのように実際のカンファレンスに活かしていくかを解説する。また、ヒヤリハット経験者の心の葛藤に配慮しながら指導を行うコツや、そこから次に活かせる教訓の引き出し方のコツ、当日のカンファレンスのファシリテート(司会)のコツについて解説を行う。「つるし上げ」「魔女狩り」カンファレンスにならないための方法をお伝えしたい。</p> <p>なお、当日は、実際のヒヤリハット症例を用いて、その経験者である当院の後期研修医の発表による振り返りカンファレンスを実演する。理論と実際を短時間で効率よく学べる企画である。</p>	